

D X 認定事業者アンケート結果 (2023年)

経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課

アンケート概要

- 目的：DX認定制度の更なる普及促進と取得後の影響の把握
- 実施時期：令和5年4月7日～5月7日
- 実施方法：Webアンケートフォームで実施
- 対象者：令和5年4月までにDX認定を受けた全事業者（653者）
- 回答数：514者（アンケート回収率：78.6%）
- 集計方法：回答があった事業者（514者）について、全体集計、大企業等、中小企業等の規模別（※）で集計

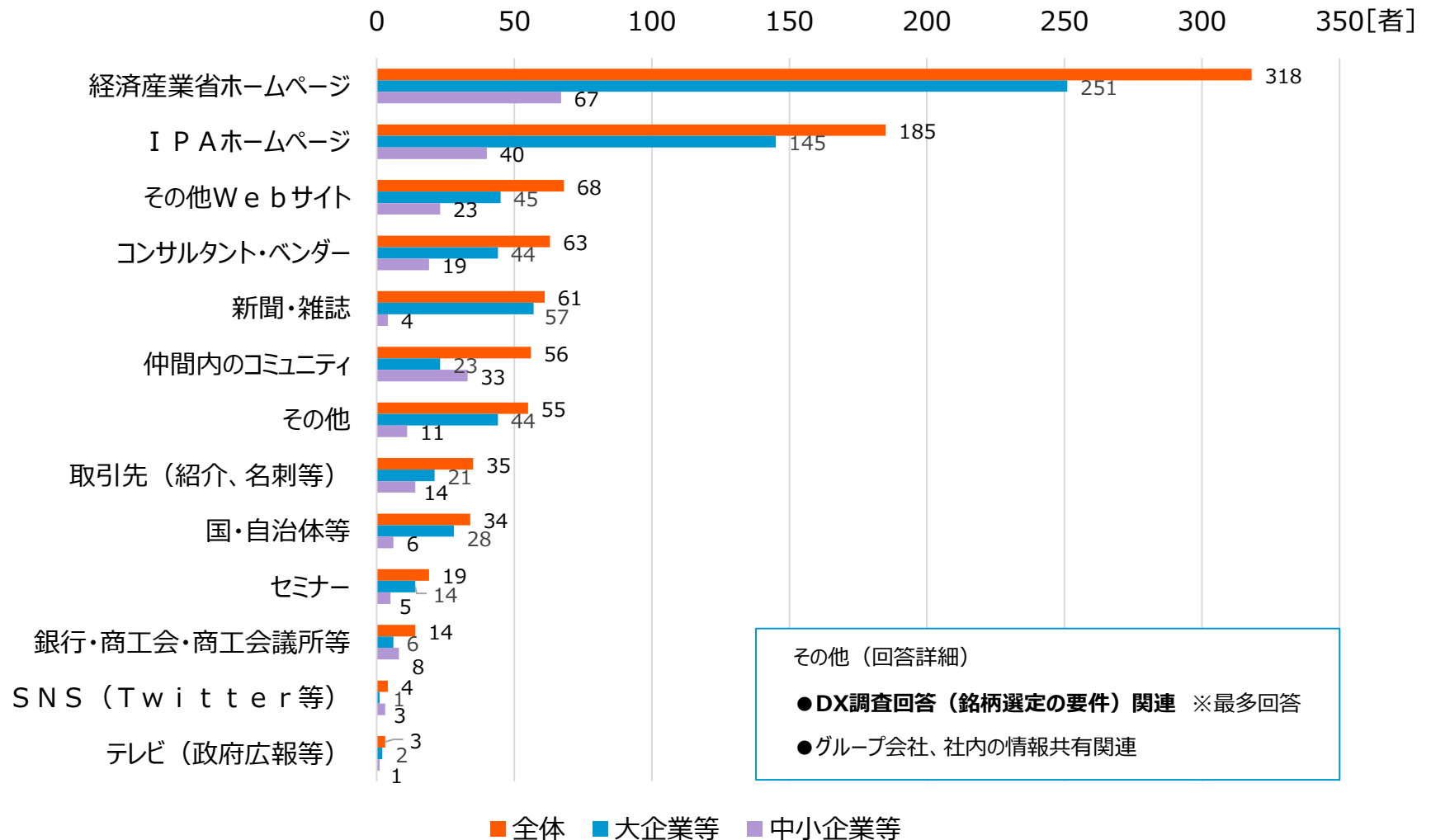
※認定事業者の申告による企業規模で集計しております。

大企業等：366者

中小企業等：148者

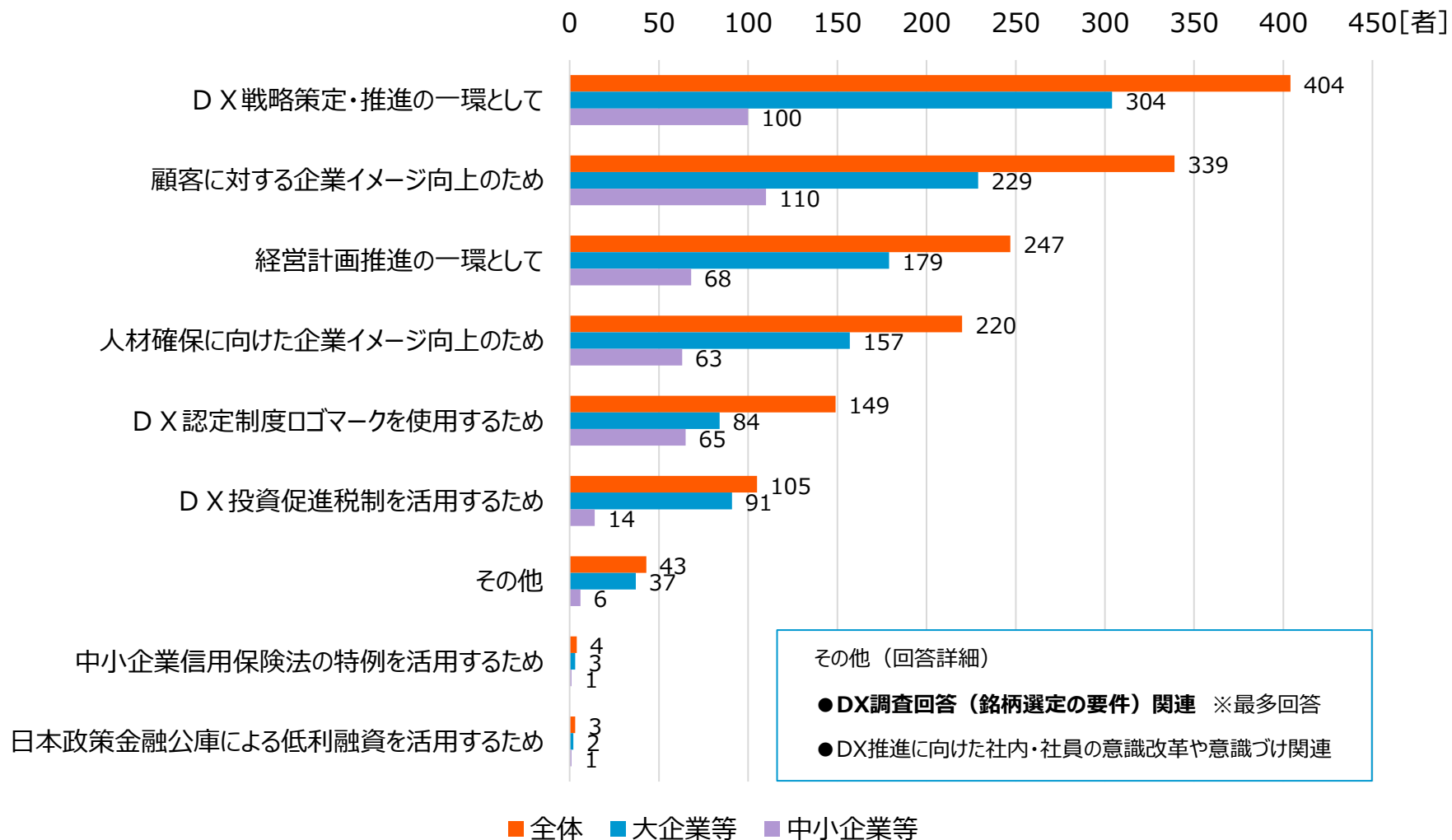
Q1. 本制度を知ったきっかけを教えてください。※複数回答可 (n=514)

- 全体傾向として、経済産業省やI P Aのホームページ、その他W e bサイトが多い
- 中小企業等では、仲間内のコミュニティから情報を得る傾向がみられる



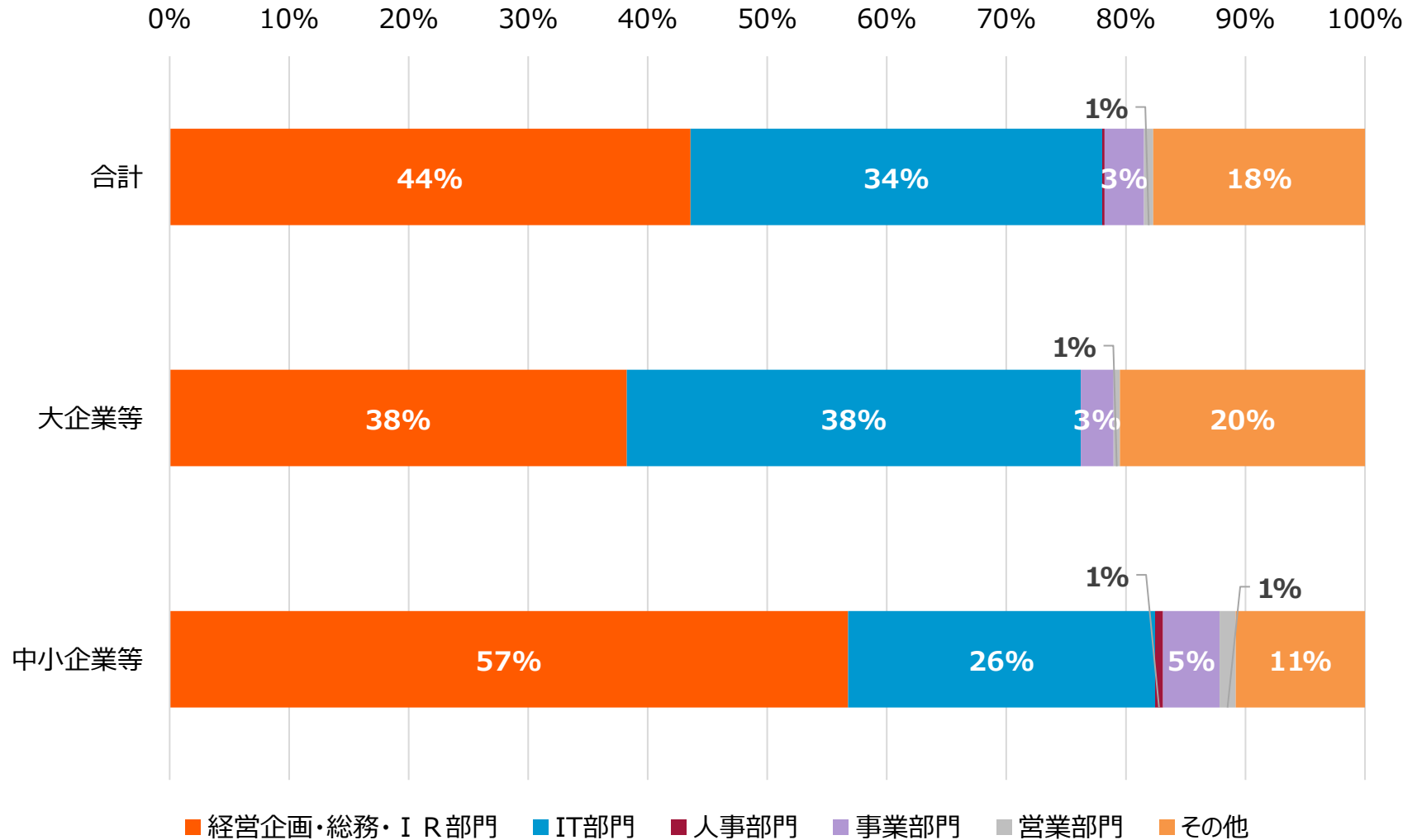
Q2. DX認定を取得しようと思った動機について教えてください。※複数回答可 (n=514)

- DX戦略策定・推進の一環として認定取得に取り組んだ事業者が最多
- 中小企業等では、顧客イメージ向上として取り組んだ事業者が最多



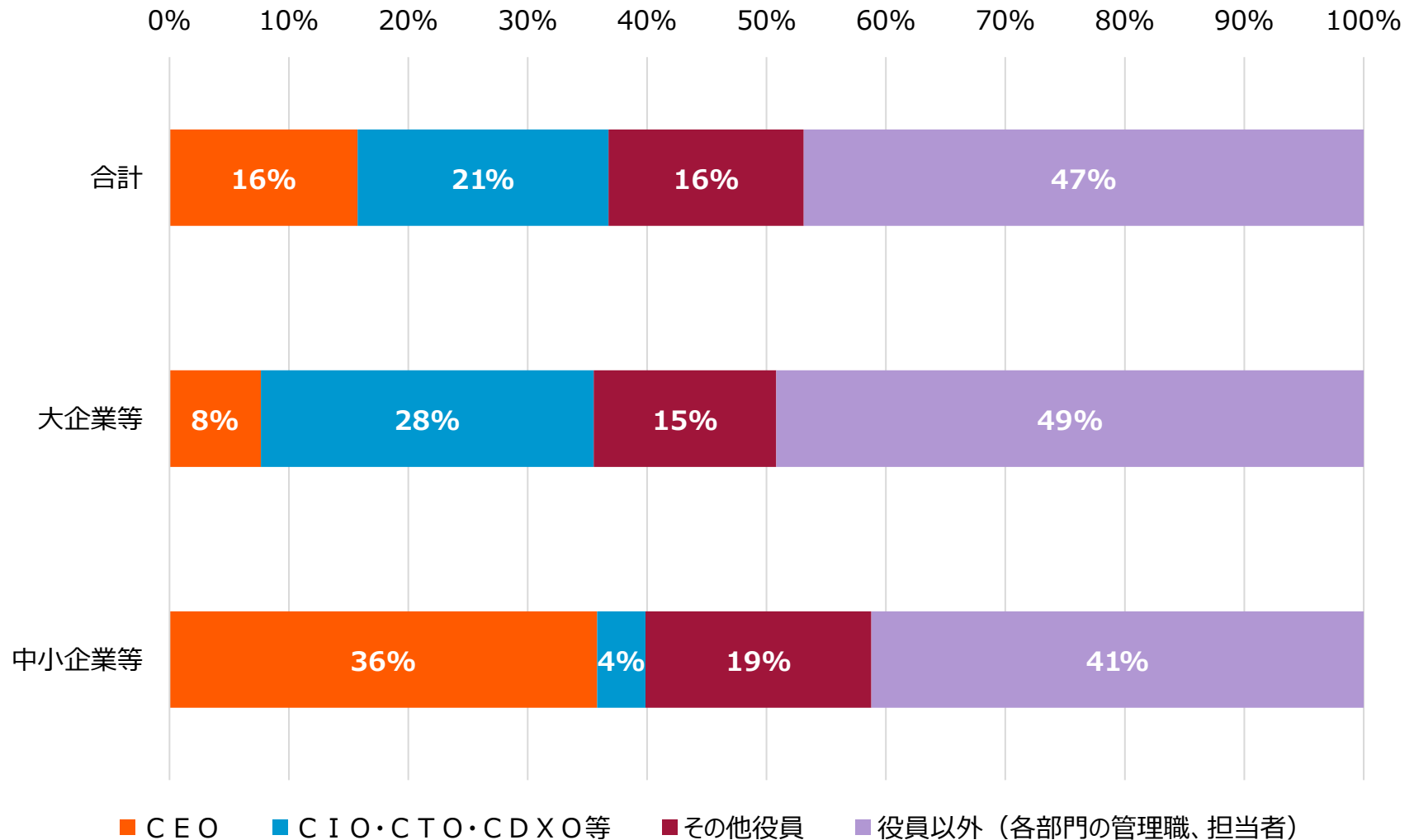
Q3-1. DX認定取得に向けて組織内で誰（部門）が旗振り役となって押し進めましたか。 (n=514)

- 全体傾向として、「経営企画・総務・I R部門」と「IT部門」を中心に、DX認定取得に向けて取組を推進



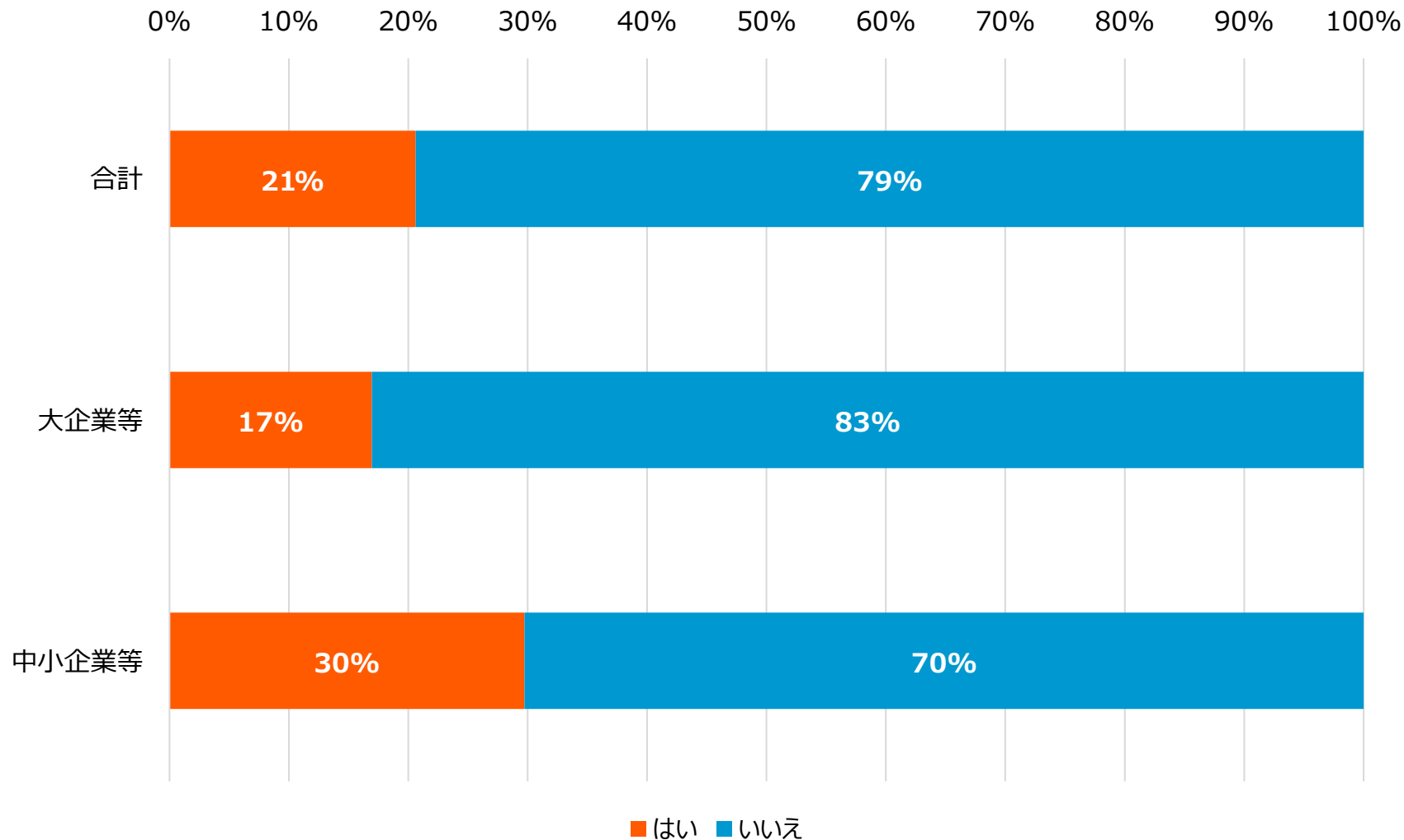
Q3-2. DX認定取得に向けて組織内で誰（役職）が旗振り役となって押し進めましたか。 (n=514)

- 全体傾向として、「役員以外（各部門の管理職、担当者）」が最多
- 大企業等では、「CIO・CTO・CDXO等」、中小企業等では「CEO」が旗振り役



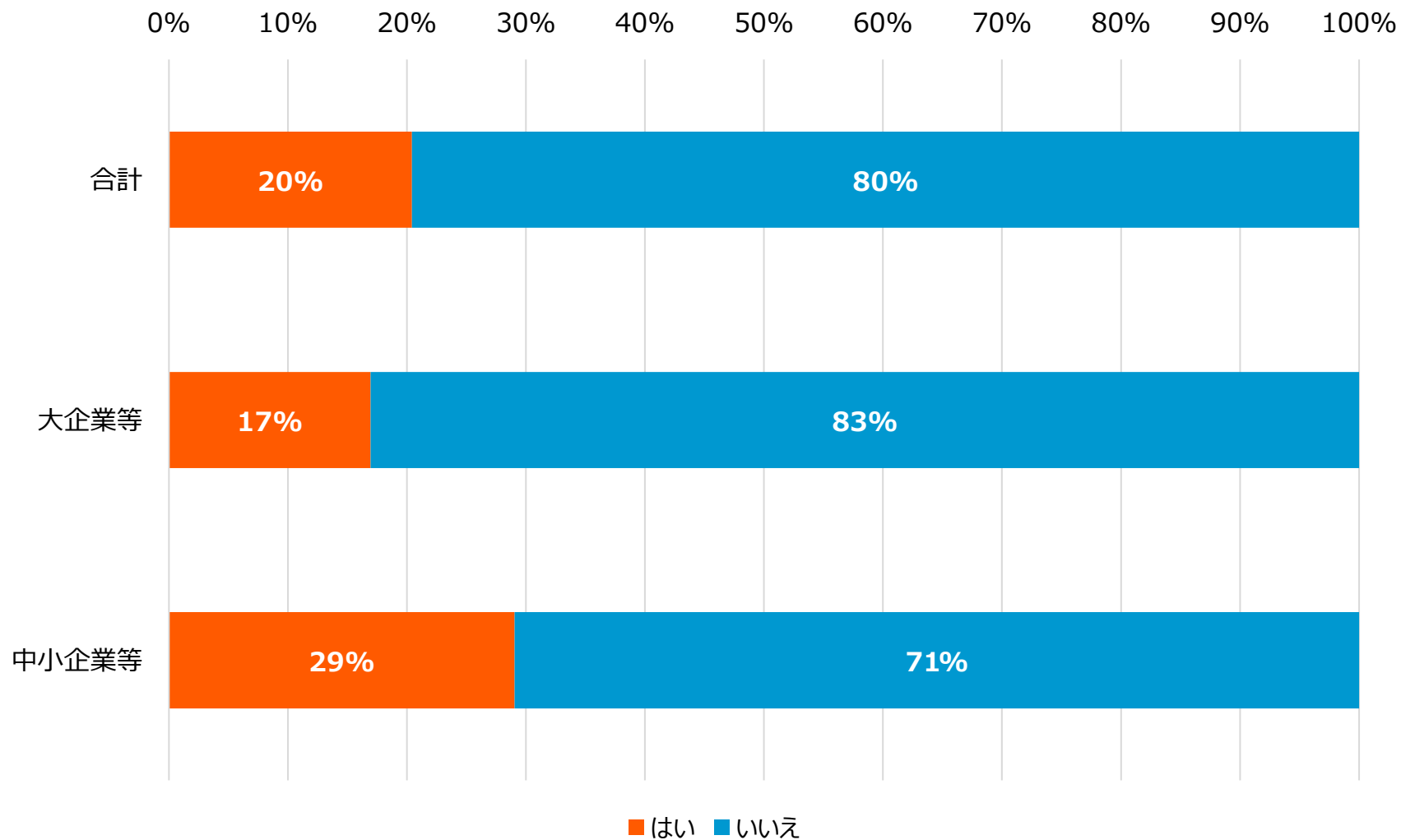
Q4-1. DX認定取得に向けて、「コンサルタント等外部の支援機関」との対話がきっかけとなりましたか。(n=514)

- 全体傾向として、「コンサルタント等外部の支援機関」との対話がきっかけとなった事業者は多くないものの、中小企業等では比率が高い



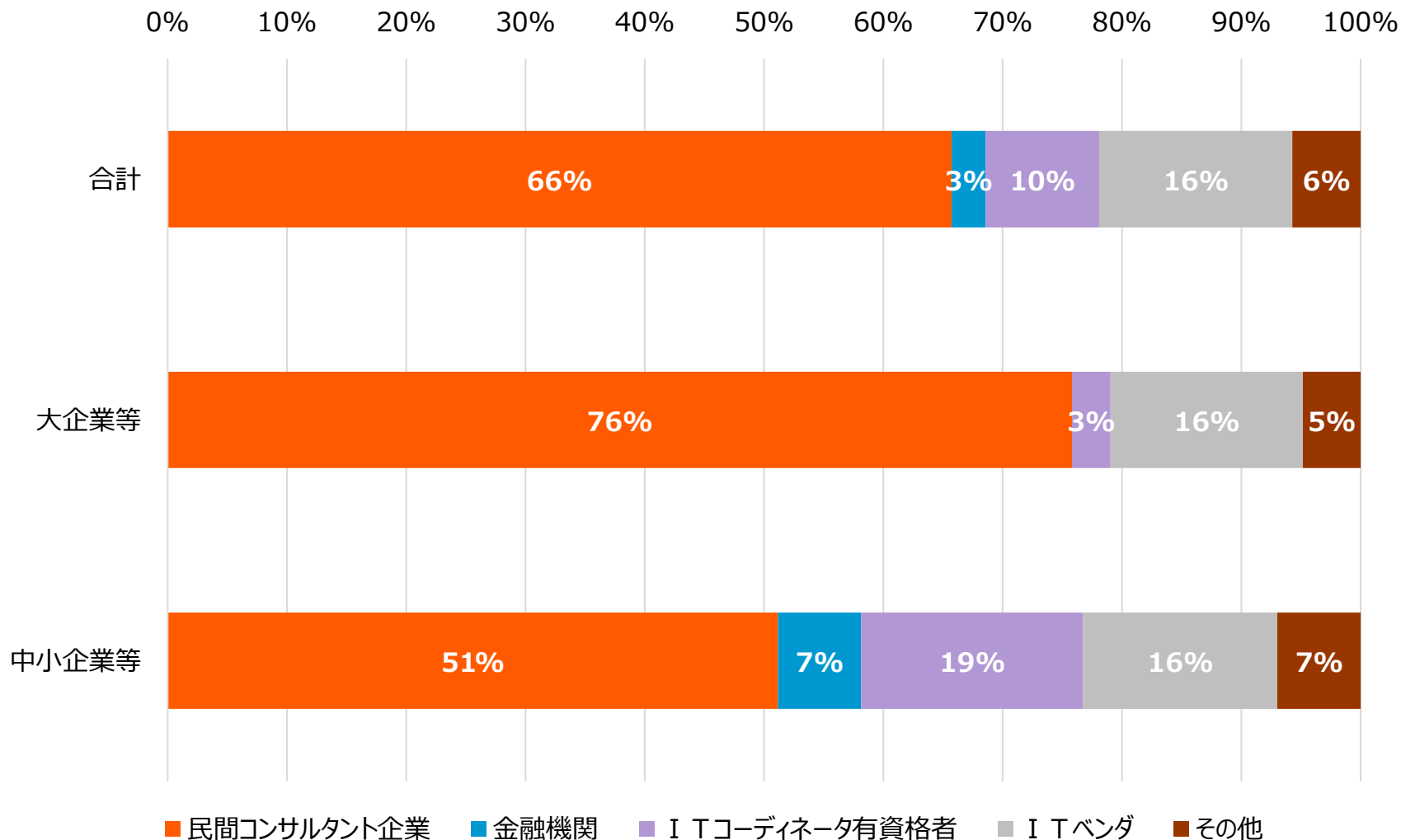
Q4-2. DX認定取得に向けて、コンサルタント等外部の支援機関を活用しましたか。 (n=514)

- 「外部の支援機関との対話がきっかけ（設問Q4-1）」と同様な傾向がみられる



Q4-3. 主に活用した具体的な外部の支援機関について教えてください。(Q4-2で「はい」と回答した事業者：n=105)

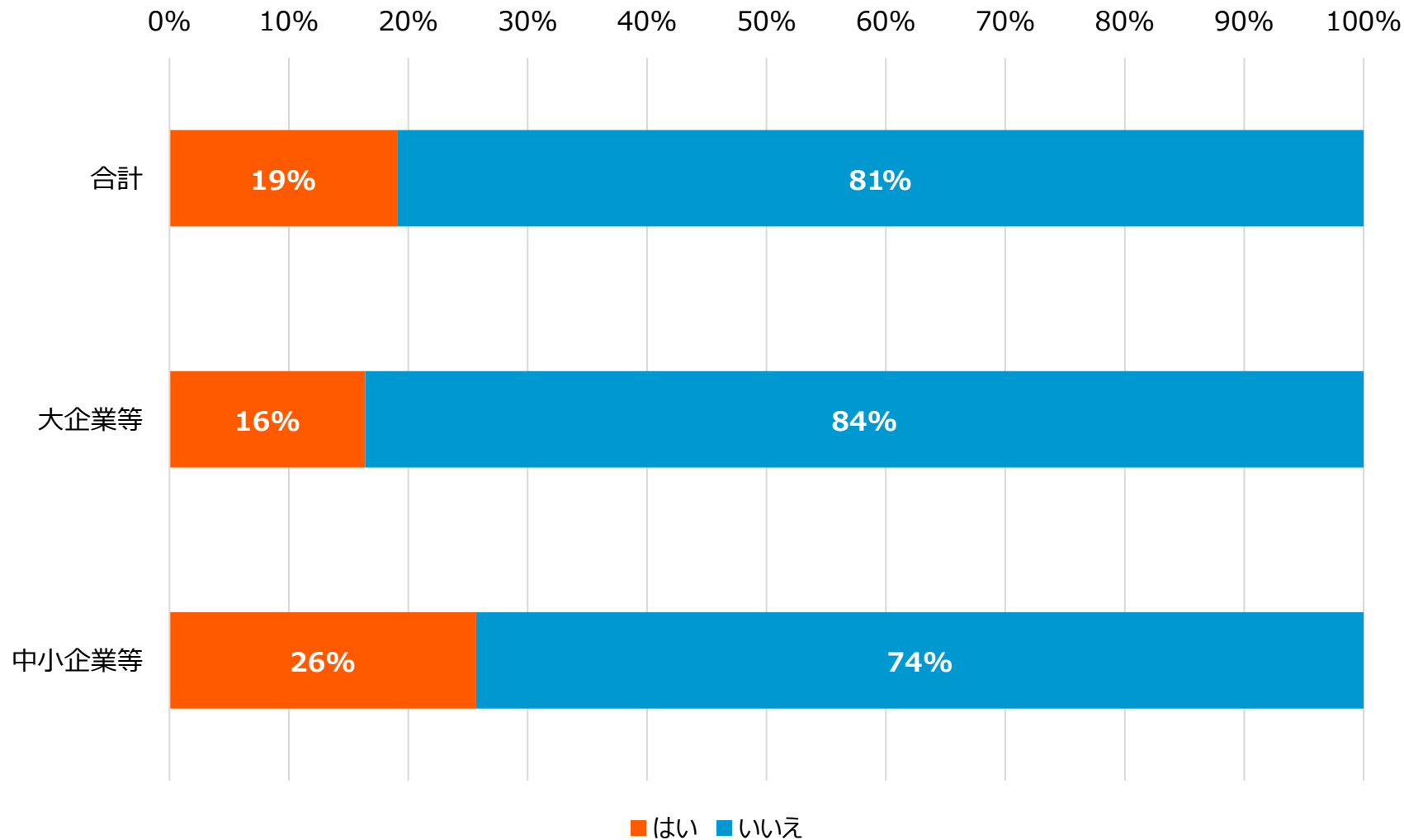
- 全体傾向として、「民間コンサルタント企業」を活用した事業者が最多
- 中小企業等では、「金融機関」、「ITコーディネータ有資格者」の回答率がやや高い



Q5-1. DX認定取得に向けて、ステークホルダーとの対話がきっかけとなりましたか。

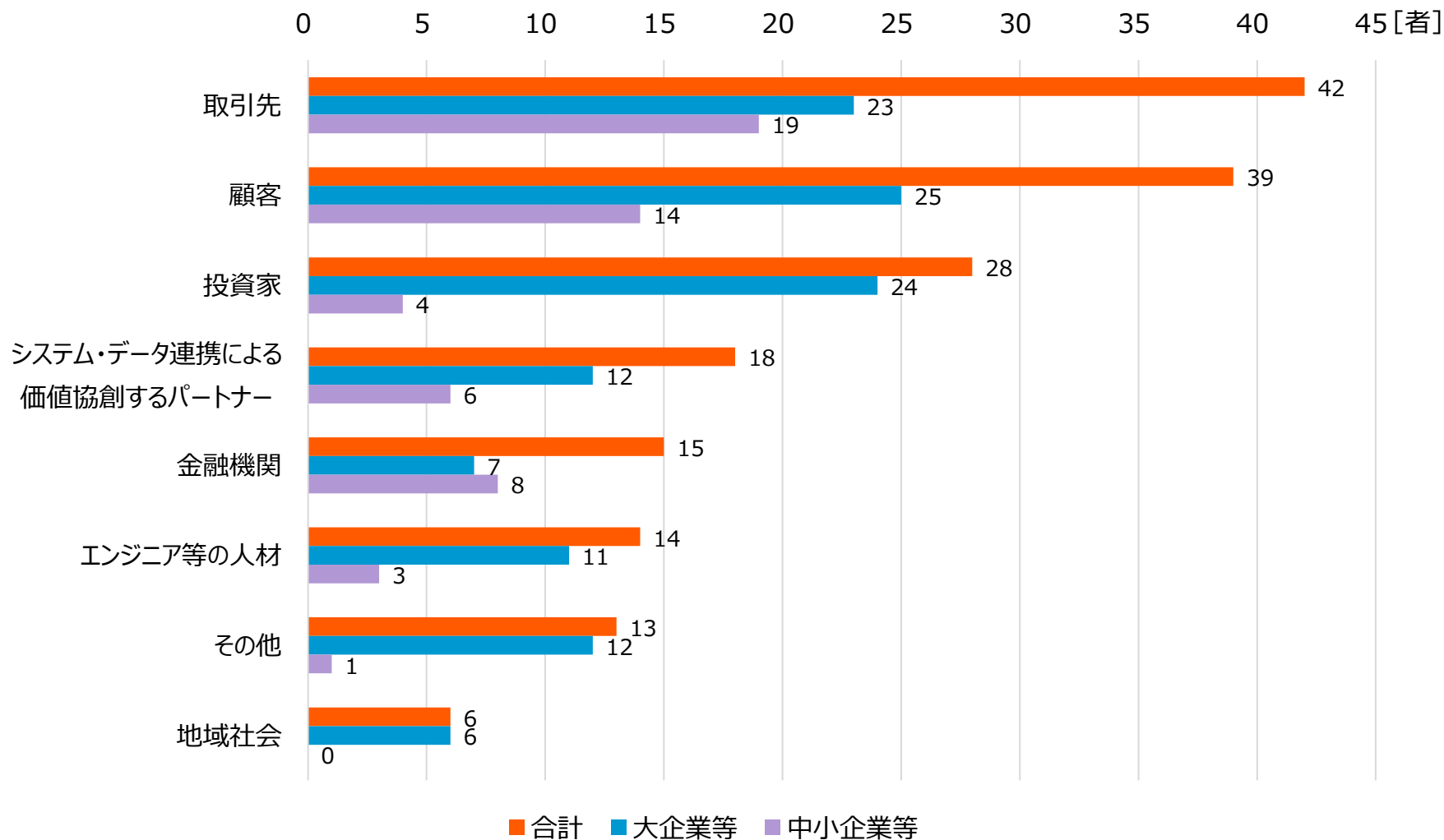
(n=514)

- 「コンサルタント等外部の支援機関（Q4-1）」と比較し、ステークホルダーとの対話がきっかけとなった事業者はやや少ない



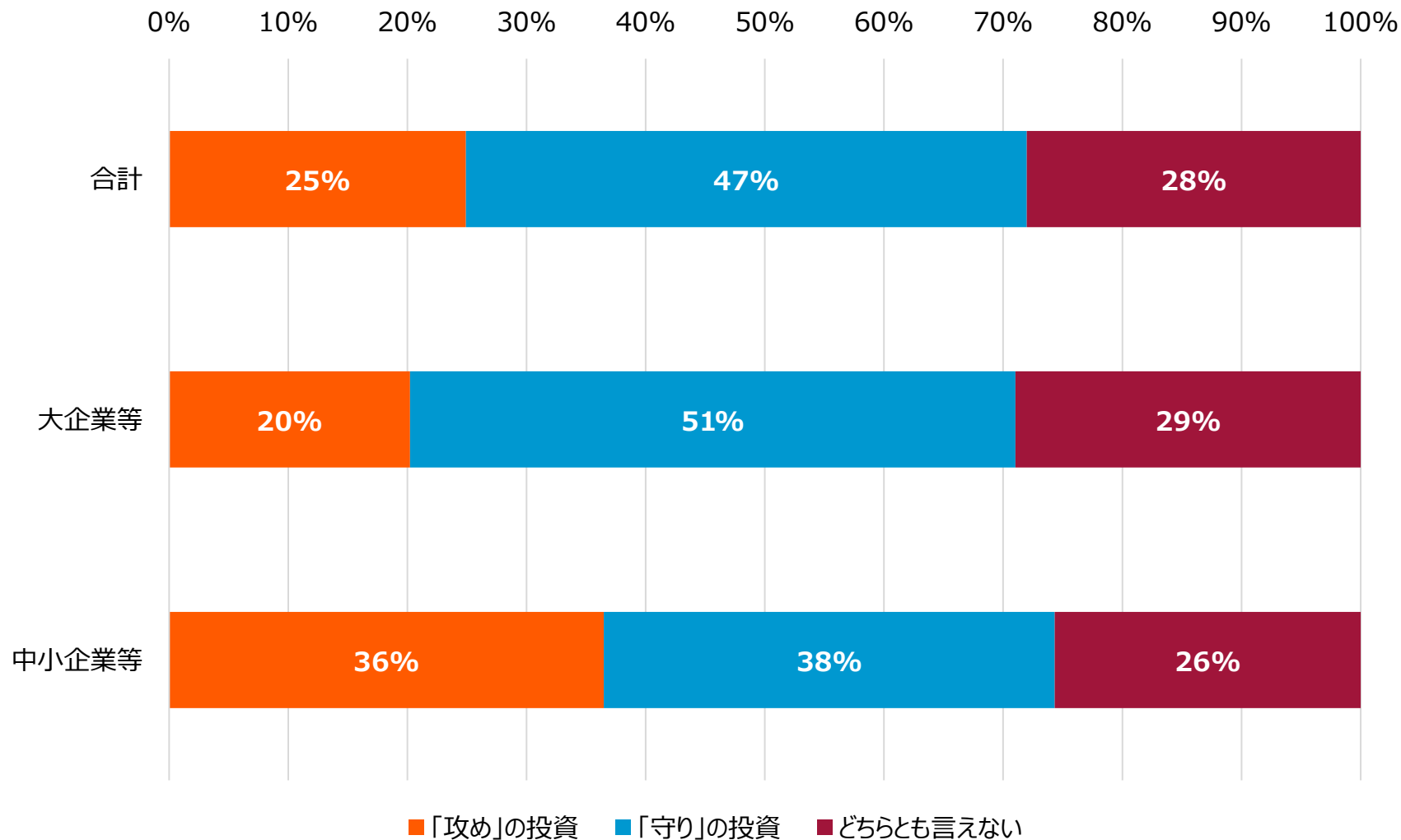
Q5-2. そのステークホルダーについて教えてください。 ※複数回答可（Q5-1で「はい」と回答した事業者：n=98）

- 全体傾向として、「取引先」、「顧客」がきっかけとなった事業者が多い
- 中小企業等では、大企業等と比較して「金融機関」がきっかけとなった事業者が多い



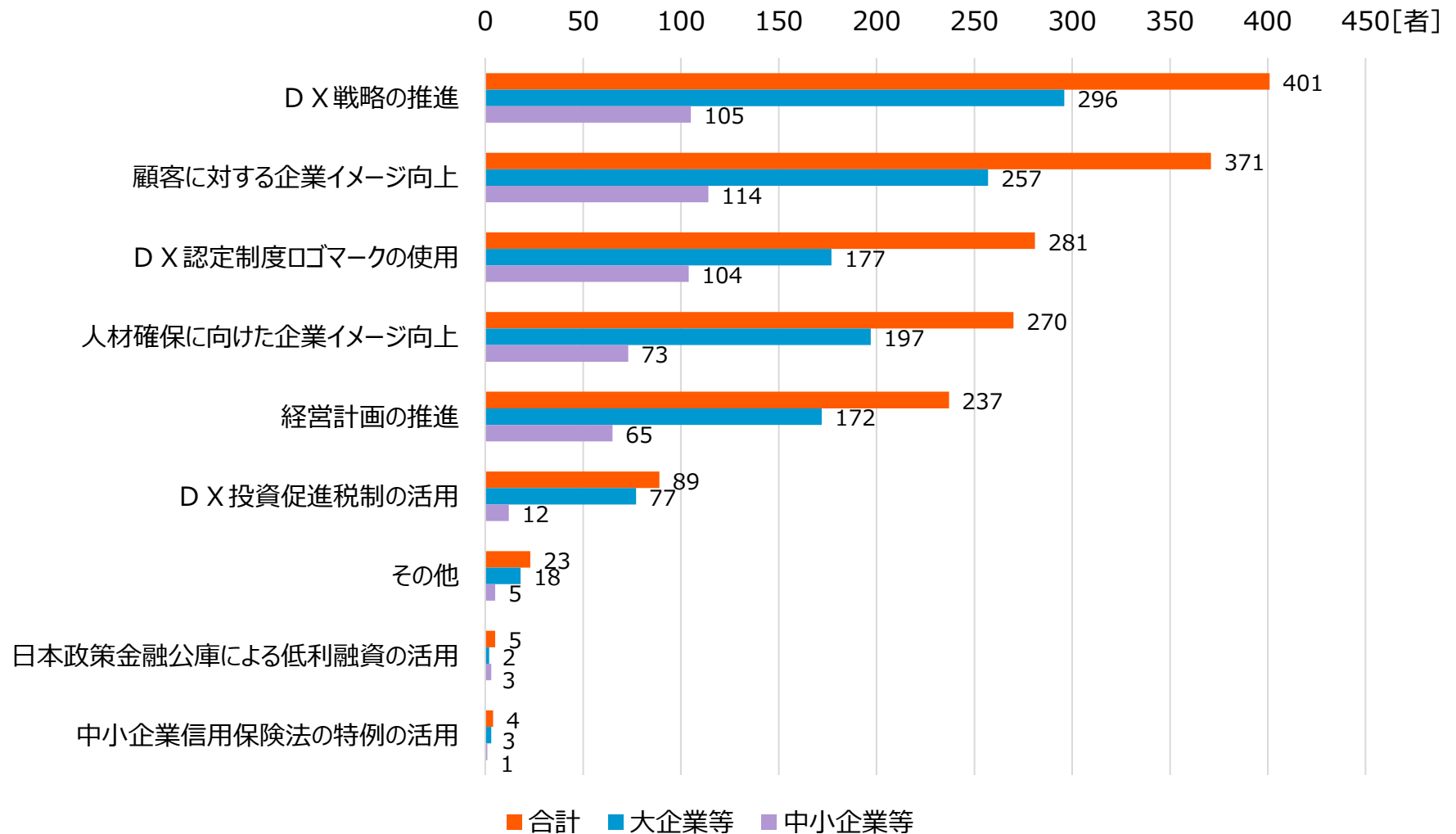
Q6. DX認定取得前のデジタル/IT投資予算について、「攻め」の投資、「守り」の投資どちらに多くの配分されていましたか。 (n=514)

- 全体傾向として、「「守り」の投資」へ多く配分されていた事業者が約半数
- 中小企業等では、大企業等と比較して「「攻め」の投資」と回答した事業者が多い



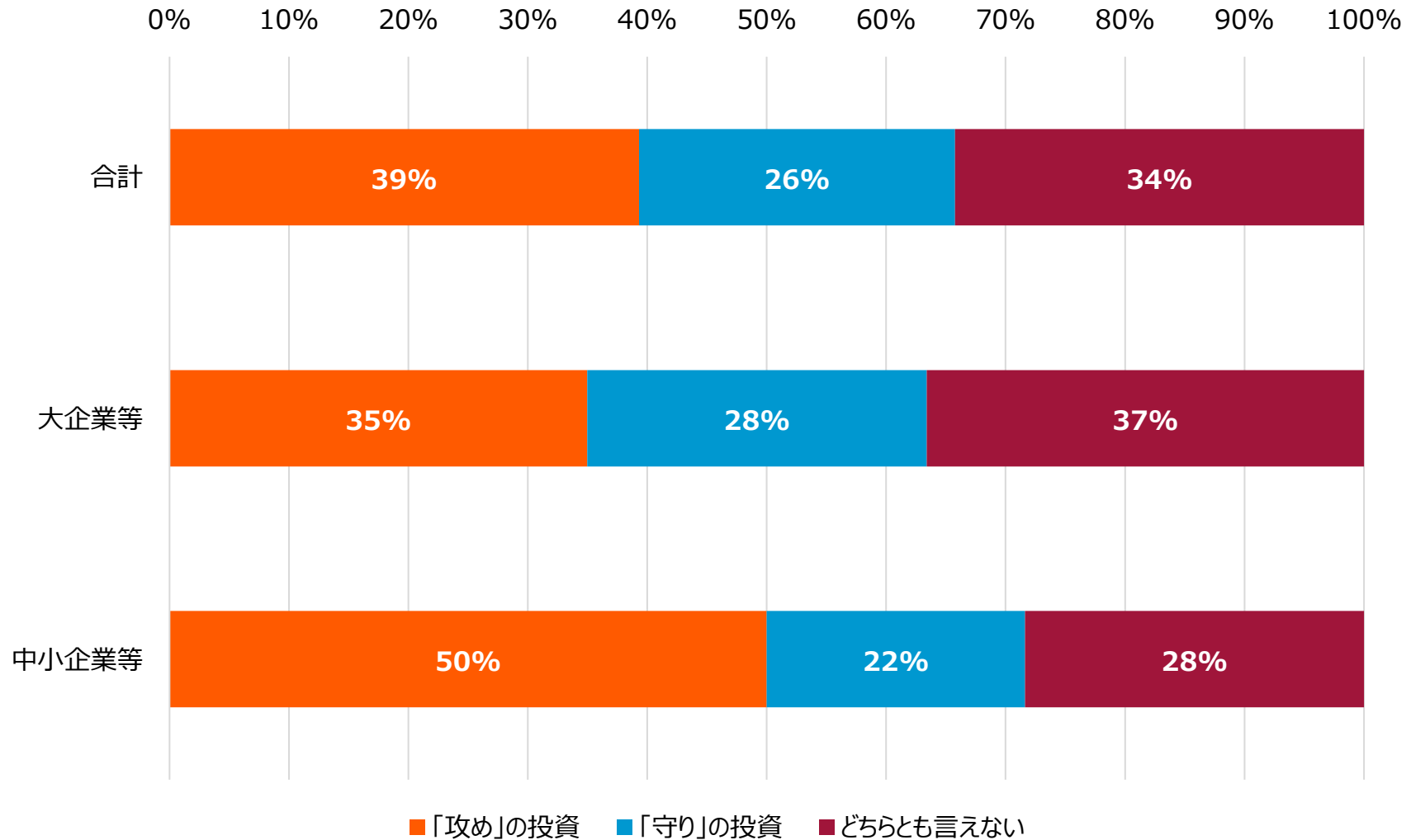
Q7. DX認定を取得したことによるメリットは、何があると思われますか。 ※複数回答可
(n=514)

- 「DX戦略の推進」、「顧客に対する企業イメージ向上」の回答が多い
- 大企業等では、「人材確保に向けた企業イメージ向上」との回答も多い



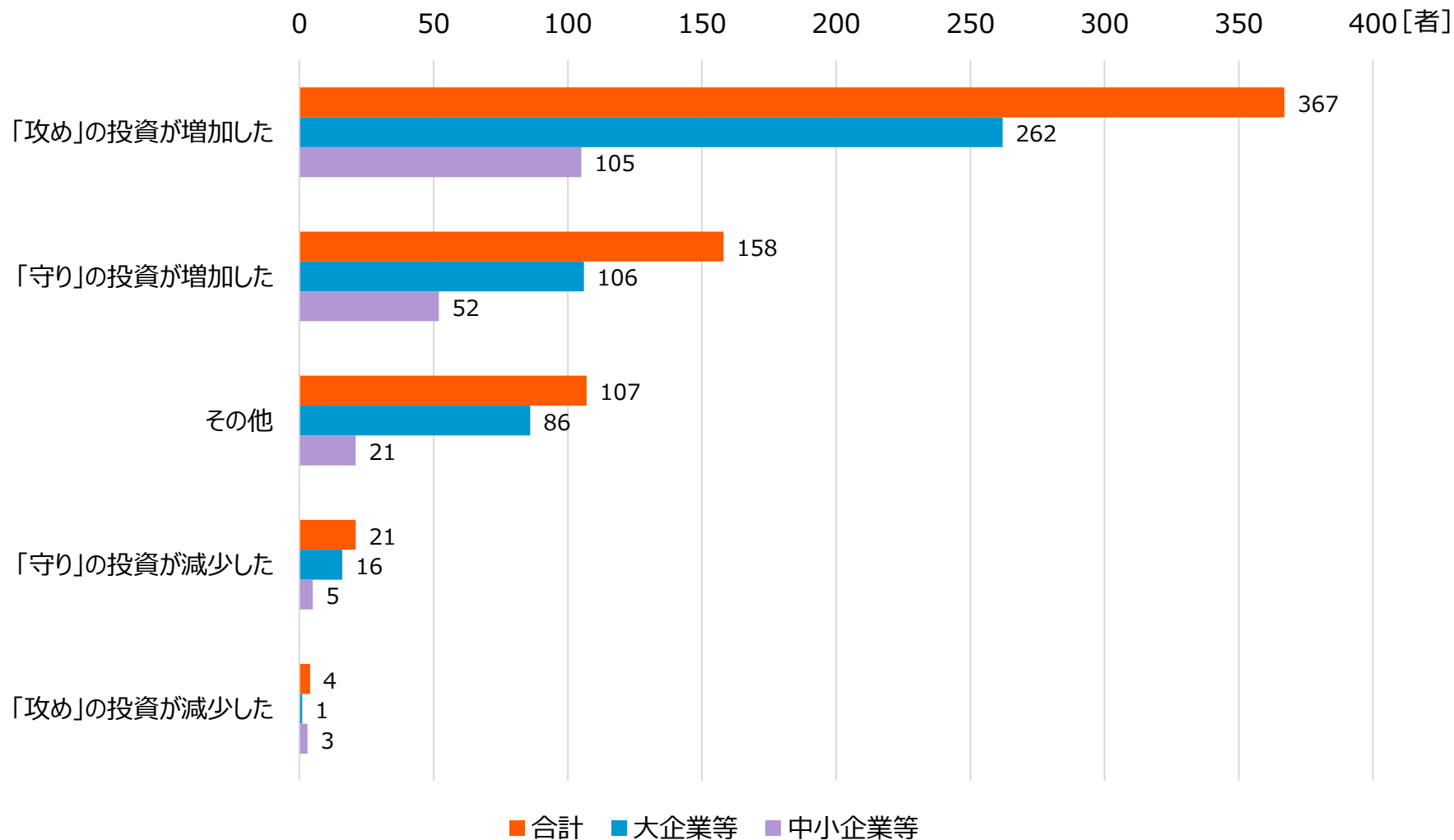
Q8-1. DX認定取得後のデジタル/IT投資予算について、「攻め」の投資、「守り」の投資どちらに多くの配分されていますか。 (n=514)

- 全体傾向として、「認定取得前の予算配分（Q6）」と比較し、「攻め」の投資への配分が多くなったとの回答が増加



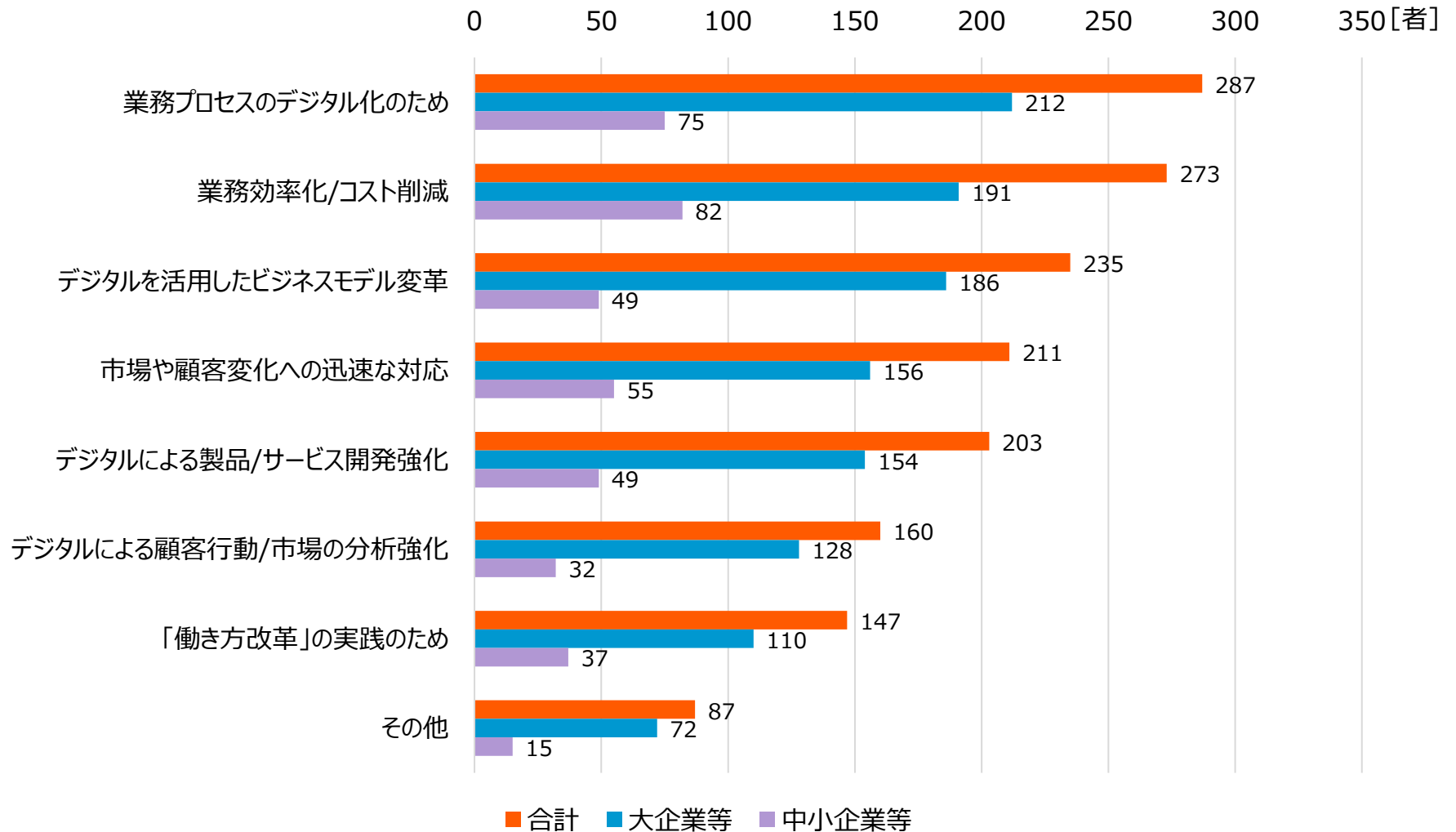
Q8-2. 予算額について、認定取得前と比較してどのように変化しましたか。 ※複数回答可 (n=514)

- 「攻め」、「守り」の両面ともに投資が増加したとの回答が多く、認定取得後はデジタル/IT投資予算そのものが増加していることが想定される



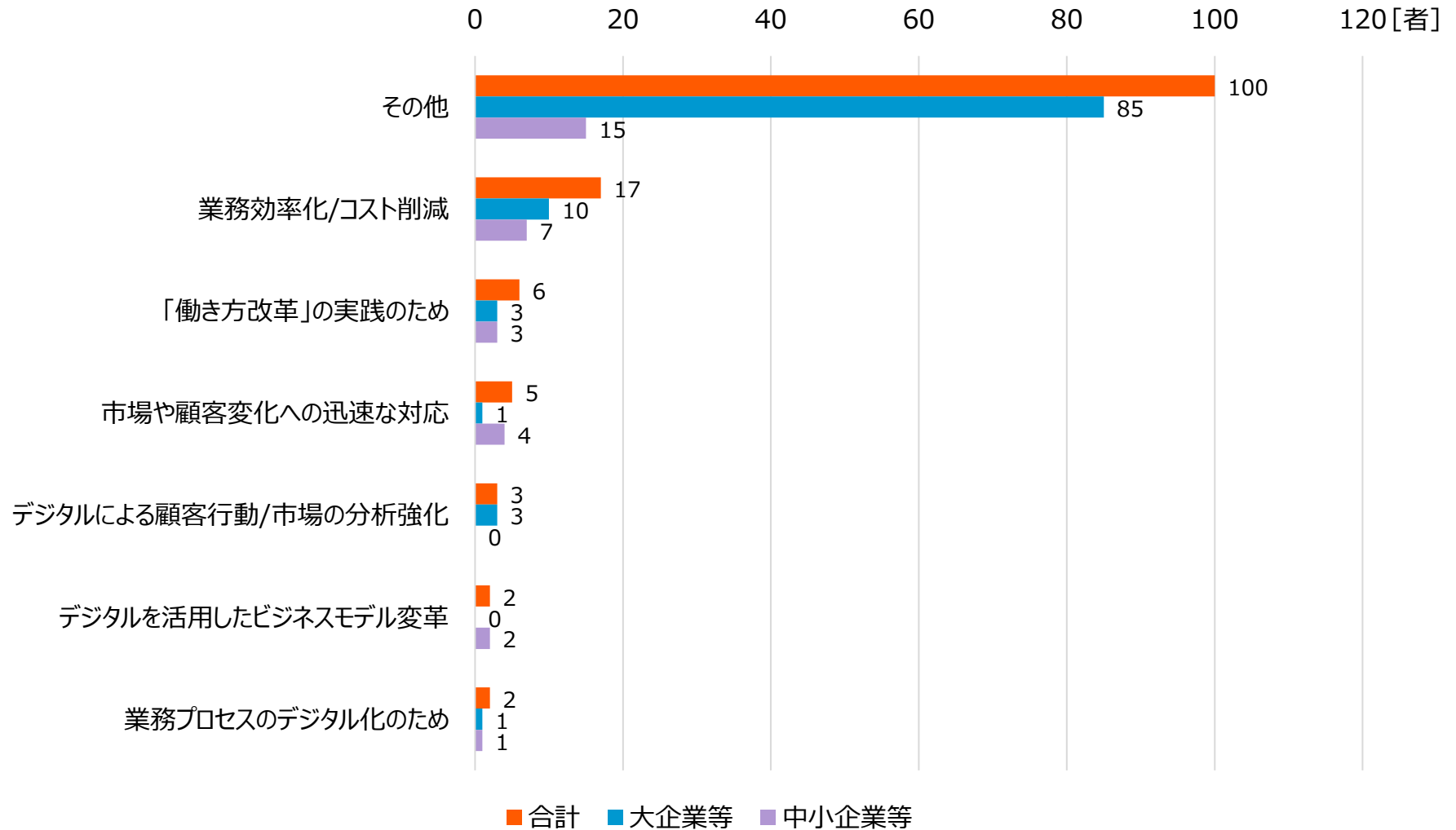
Q8-3. 変化（増加）した具体的なデジタル投資の目的について教えてください。 ※複数回答可（Q8-2で「増加した」または「その他」と回答した事業者：n=632）

- 「業務プロセスのデジタル化」、「業務効率化/コスト削減」との回答が多い
- 中小企業等では、「デジタルを活用したビジネスモデル変革」との回答がやや少ない



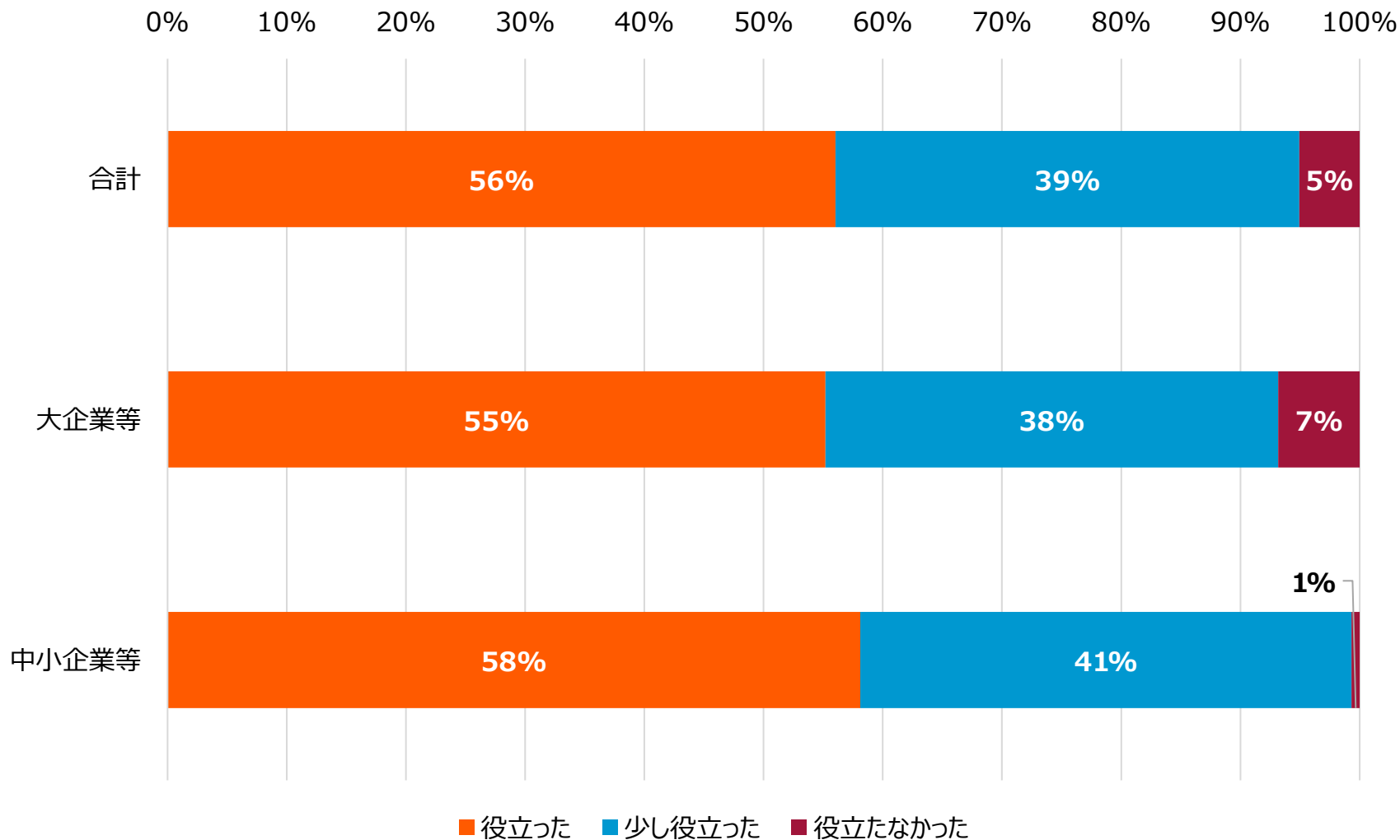
Q8-3. 変化（減少）した具体的なデジタル投資の目的について教えてください。 ※複数回答可（Q8-2で「減少した」または「その他」と回答した事業者：n=132）

- 全体傾向として、「その他」の回答が最多であり、詳細内容では「変化なし」が最多



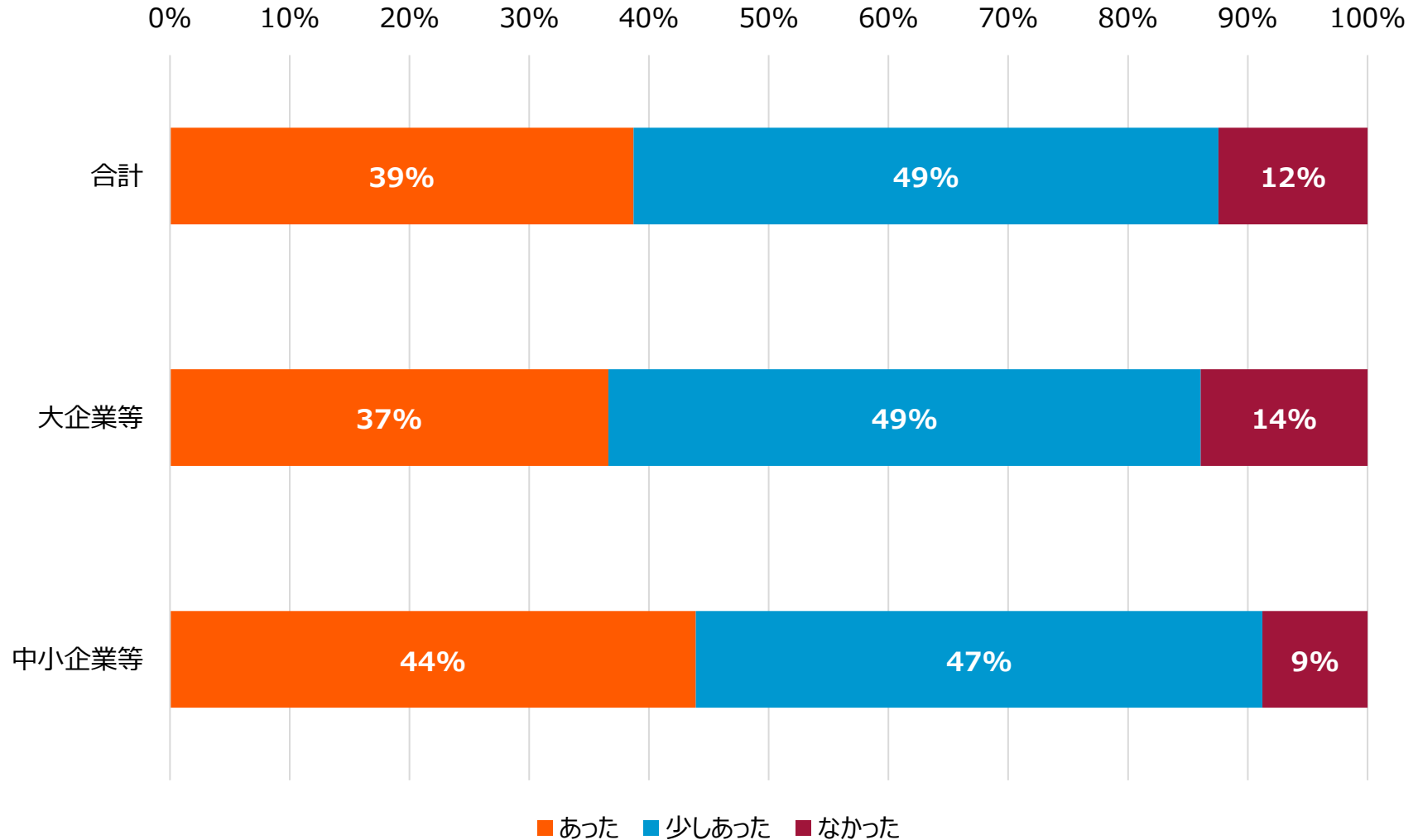
Q9. DX認定取得に向けたプロセスが貴社のDX推進体制や戦略の構築・見直しに役立ちましたか。(n=514)

- 事業者の95%が、「役立った」、「少し役立った」と回答
- 大企業等では、中小企業等と比較して、「役立たなかった」との回答がやや多い



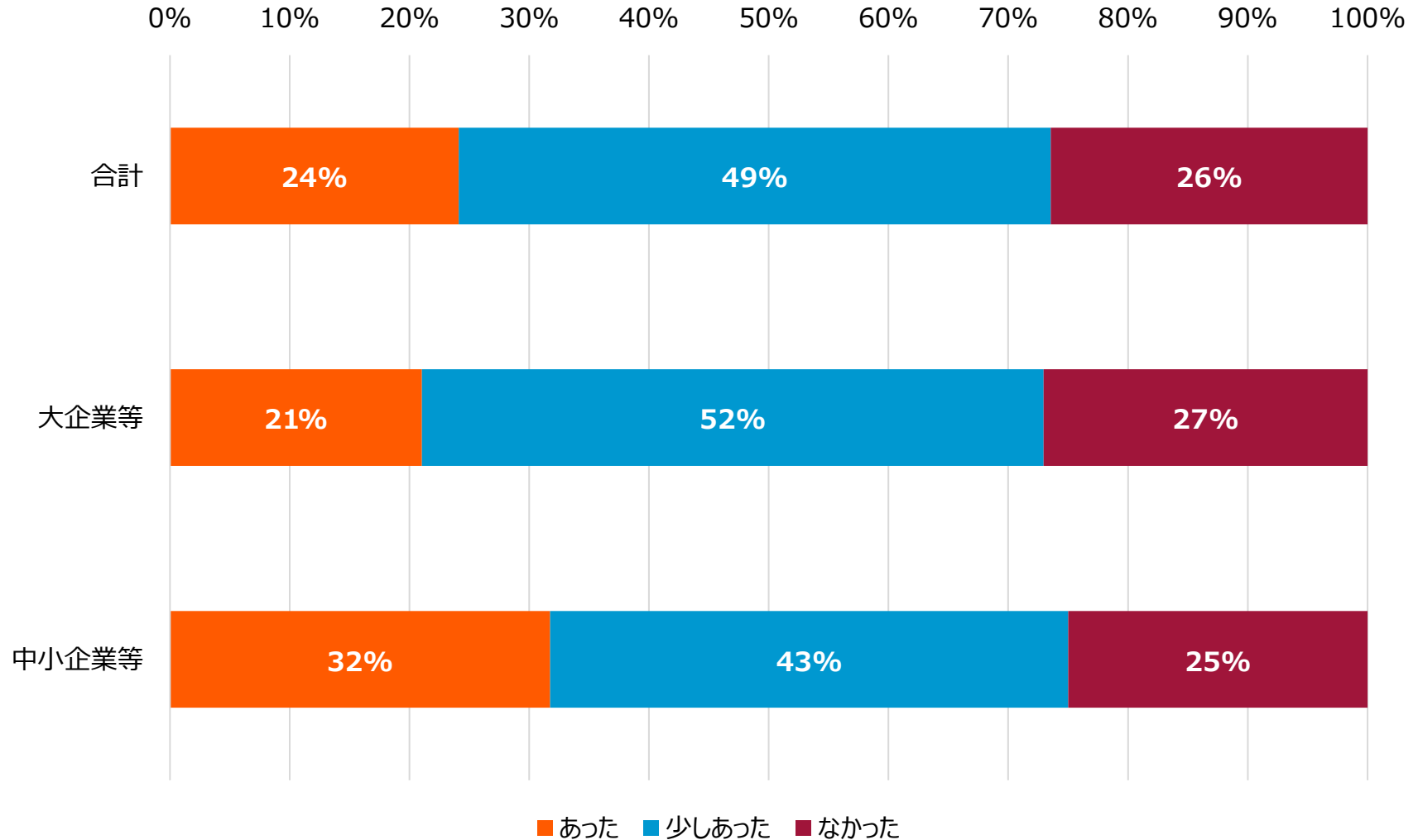
Q10. DX認定を取得したことにより、事業への良い影響（貴社内や取引先等からの好反応等）はありましたか。（n=514）

- 事業者の88%が「あった」、「少しあった」と回答したものの、「認定取得に向けたプロセスがDX推進に役立ったか（Q9）」と比較し、事業への良い影響はやや少ない



Q11. DX認定を取得したことにより、人材の育成・確保に良い影響（応募者や採用ページPV数の増加、その他ポジティブな反応）はありましたか。（n=514）

- 事業者の73%が、「あった」、「少しあった」と回答
- 中小企業等では、大企業等と比較して、良い影響があったとの回答がやや多い



Q12. Q9からQ11までの各効果の具体的な内容、その他認定取得後の影響がありましたら教えてください。 ※回答任意 (n=217)

- 各設問に関連した前向きなコメントや良い影響に関する具体例が多く見られた。

1

DX推進体制や戦略の構築・見直し

- ✓ 社内でのDX戦略推進に対する認知度・重要性が上がった。
- ✓ DX推進部門とIT企画部門が、今回の取得をきっかけにお互いの方向感を確認し、手を取り合える関係を構築できた。
- ✓ DX推進に関する社内での方向性が明確化され、社内ステークホルダに戦略浸透がより一層共有された。
- ✓ DXに関する活動が特定の部署だけでなく、社内全体を巻き込んでできるようになった。
- ✓ DX戦略を構築することで、全社的な視点でのITを絡めた今後の経営戦略に役立てることができた。
- ✓ 経営陣との対話の機会を多く得られ、経営方針の決定に役立った。

2

顧客との関係性

- ✓ 取引先との会社ブランド力が上がり企業信用度も向上したことで、商談数が増加して売上アップになった。
- ✓ 弊社事例を参考にDX認定を取得されたお客さまも多数おり、顧客関係力の向上に役立った。
- ✓ ビジネスパートナーや同業他社からの認知度が上がり、DX認定取得に関する相談があった。
- ✓ 新規営業において、大手企業様からの反応が良くなり売上増につながった。
- ✓ DX認定を通じて取引先に対して自社のDX推進の取り組み内容を説明する機会が増えた。
- ✓ DX認定により、同様にDX認定を取得している、これまでご縁の無かった企業との繋がりや情報交換ができるようになった。

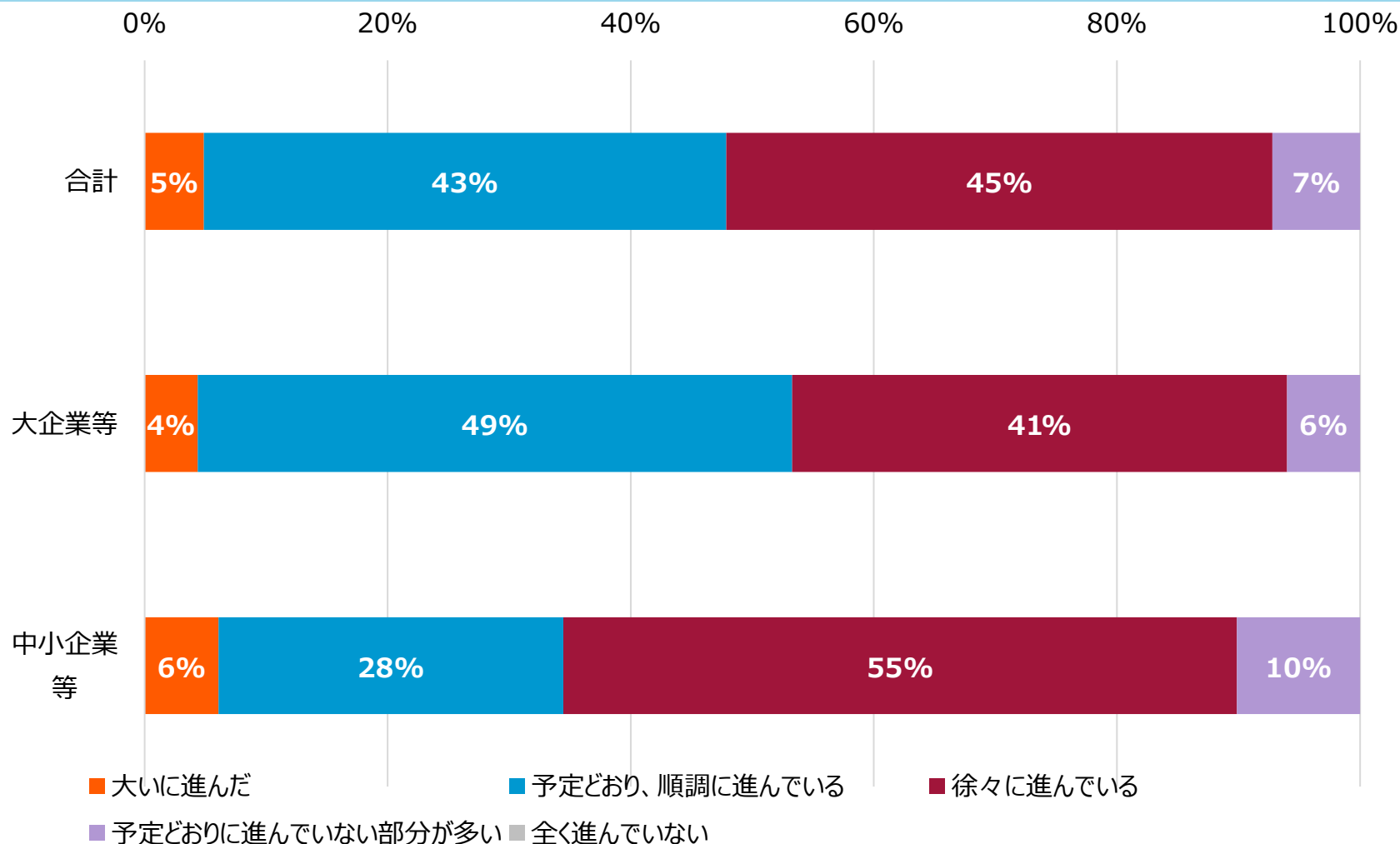
3

人材の育成・確保

- ✓ DXリテラシー教育、DX専門人材育成が開始された。
- ✓ システムエンジニアやフロントサイドエンジニアの求人応募が増え、実際の雇用創出につながった。
- ✓ 人材教育部門と密に連携され、人材像の定義や教育計画において共同で検討する状況に変化している。
- ✓ 人材採用時に認定を受けていることが企業選択の理由の一つになったとコメントがあった。
- ✓ DXに関連する資格取得に自発的に努めるなど、人材の育成に良い影響があった。
- ✓ 人材採用活動において認定企業として応募理由に挙げられることが増えた。
- ✓ 新卒採用にて、学生からDX認定とDX銘柄が応募のきっかけとなったと多々言われたことがある。

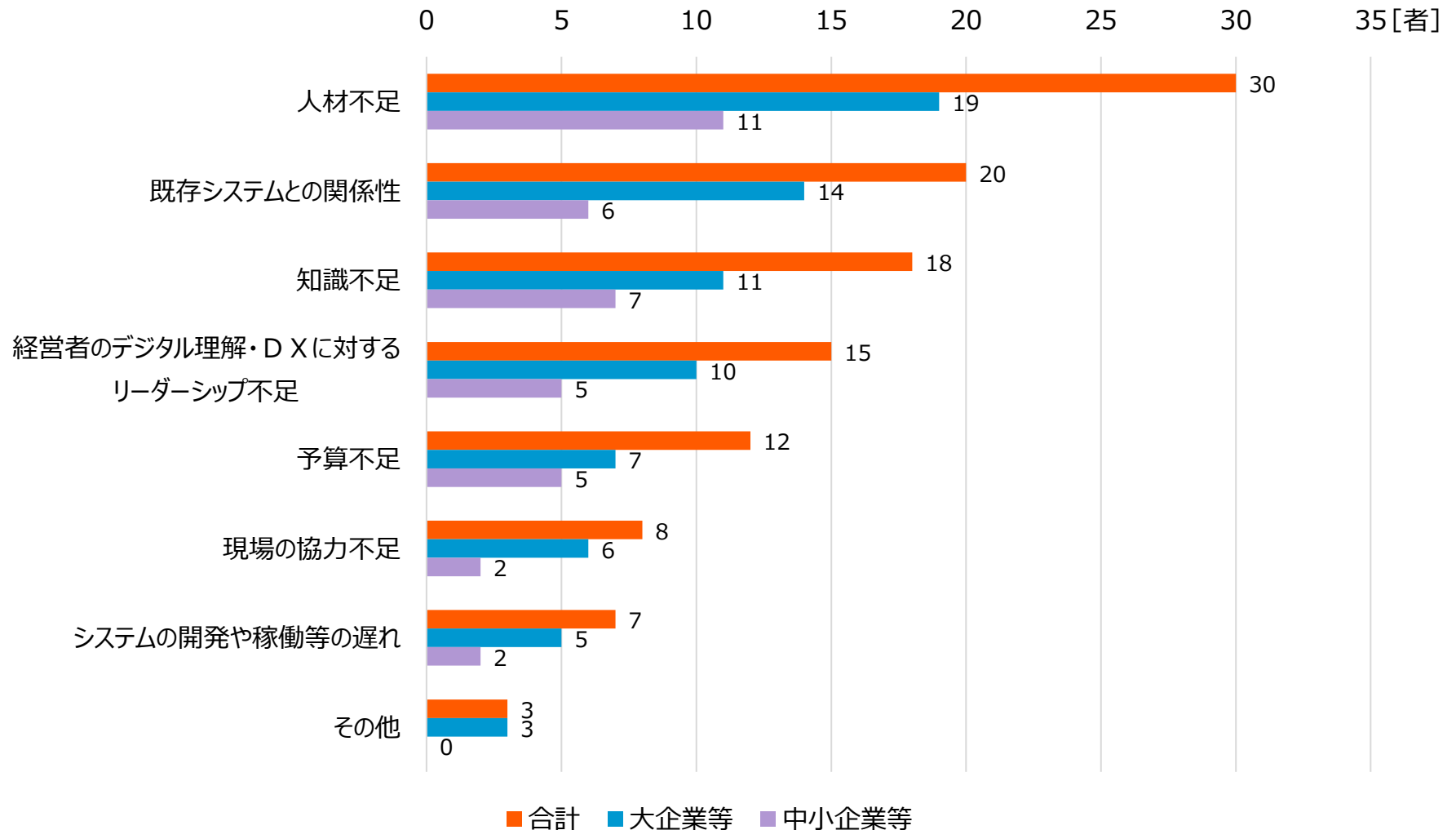
Q13-1. DX認定を取得した後、DXの取組は進んでいますか。 (n=514)

- 事業者の93%が、「大いに進んだ」、「予定どおり、順調に進んでいる」、「徐々に進んでいる」と回答したものの、中小企業等では「予定どおりに進んでいない部分が多い」との回答がやや多い



Q13-2. 進んでいない場合、主な課題は何ですか。 ※複数回答可 (n=37)

- 全体傾向として、「人材不足」が最多回答
- 大企業等では、中小企業等と比較して「既存システムとの関係性」の回答がやや多い



その他、自由意見記述 ※回答任意 (n=90)

- 制度に対する肯定的な意見や他制度との連携によるメリットに関する提案が多く見られた。

1

認定制度全般

- ✓ DX認定を取得するためのプロセスは、自社を見直す大変良い機会になります。
- ✓ 申請内容の不足部分についての的確なご指摘、アドバイスが非常に参考になりました。
- ✓ 本認定制度により、DXの進捗度合を客観評価頂けるのは有難く感じております。
- ✓ DX認定事業者は、名刺やWebサイトでDX認定ロゴマークによるアピールを行えるほか、DXへの取り組みを加速できるなど多くのメリットがあります。
- ✓ どんな企業であってもDX認定取得に向け戦略を検討することは非常に有効だと感じております。
- ✓ 地方だからかもしれないが、制度自体の認知度が低いと感じる。広がりも正直あまり感じられない。
- ✓ 認定制度は中小企業にまで認知されておきませんが、もっと広く認知されるよう、そしてもっと多くの企業が認定取得に取り組むことができれば、社会全体のデジタル化が進むように思います。

2

他施策等との連携

- ✓ DX認定取得により、IT導入補助金の業者登録の迅速化、補助金の割増、承認条件の緩和などを実施していただきたい。
- ✓ 地域事業者に取得を働きかけたいが、取得のインセンティブが弱いように感じる。助成率が高い補助金や助成金の要件にするなど検討いただきたい。
- ✓ 入札要件にするなど、DX認定を取得するための条件やメリットがより出てくると、DX認定に対応する企業が多くなると思う。
- ✓ DX人材（ITSS4以上の人員等）を雇用したら助成金などの制度があると良いと思います。

3

その他

- ✓ 自社内のトランスフォーメーションは限界があるため、どう取引先を巻き込んでいくかが重要。物流業では、荷主、運送会社、配送先とサプライチェーン全体がDX化していく必要性があり、1社でも認定企業が増えていくことが、結果として、個々の企業のメリットにもなると思っています。
- ✓ 認定制度は中小企業にまで認知されておきませんが、もっと広く認知されるよう、そしてもっと多くの企業が認定取得に取り組むことができれば、社会全体のデジタル化が進むように思います。